

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 58031229  
PUBLICATION DATE : 23-02-83

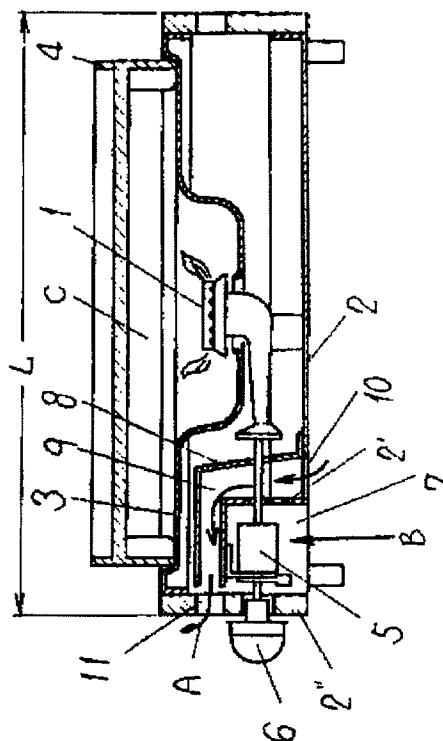
APPLICATION DATE : 17-08-81  
APPLICATION NUMBER : 56128520

APPLICANT : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD;

INVENTOR : KAMO TETSUO;

INT.CL. : F24C 3/12 F24C 15/34

TITLE : TABLE-TOP GAS HEATER



**ABSTRACT :** PURPOSE: To heat-insulate and protect a gas cock, and to miniaturize a heater proper by disposing a gas cock encasing chamber surrounded by a heat shielding wall and a cooling air passage to the lower section of a base plate section such as a cooking plate.

**CONSTITUTION:** The chamber 7, which is surrounded by the heat shielding wall 8, to the inside the cooling air passages 10, 11 are formed and which encases the gas cock 5, is disposed to the lower section of the base plate section 3. According to this constitution, the hot air of a heat accumulating chamber C, the gas burner 1, etc. is interrupted by the heat shielding wall 8 and cooling air flowing in the cooling air passages 10, 11 while cooling air B directly cools the gas cock 5. Accordingly, the gas cock is positively heat-insulated and protected while the heater proper can be miniaturized only by the gas cock 5 section because the gas cock is not projected above the mounting plate 3.

**COPYRIGHT:** (C)1983,JPO&Japio

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—31229

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

F 24 C 3/12  
15/34

識別記号

庁内整理番号

7116—3L  
7116—3L

⑭ 公開 昭和58年(1983)2月23日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ 卓上用ガスコンロ

⑯ 特 願 昭56—128520

⑰ 出 願 昭56(1981)8月17日

⑱ 発 明 者 堂岡悦次

門真市大字門真1006番地松下電  
器産業株式会社内

⑲ 発 明 者 加茂哲雄

門真市大字門真1006番地松下電  
器産業株式会社内

⑳ 出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

㉑ 代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

卓上用ガスコンロ

2. 特許請求の範囲

ガスバーナを中心とする調理用プレートなどの  
載置部下方に、ガスコックを配設した室を形成し、  
前記室内には冷却空気を供給するようにしてなる  
とともに、前記室を形成する器体壁との間に、空  
気流通間隙をおいて遮熱壁を、前記室を開むよう  
に設けてなる卓上用ガスコンロ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は食卓上などで使用される卓上用のガス  
コンロに関する。

周知のようにガスコンロのガスコックは、熱的  
悪影響を受けないように配設されなければならない。  
第4図はその例を示し、ガスコック12はガ  
スバーナ13を中心とする調理用プレート14な  
どの載置部範囲A外の器体15内に設けられ、ガ  
スコック12とガスバーナ13間には、ガスコ  
ック12を覆うように遮熱壁16が配設されている

2 ページ

とともに、器体15の底部と前部には、遮熱壁16  
によって囲まれたコック室17内に冷却空気Bが  
流動するよう孔18、19が穿設されている。

この構成によれば器体15上への調理用プレ  
ート14の載置時に形成される蓄熱室C外にガスコ  
ック12があること、および遮熱壁16による遮  
熱、さらには冷却空気Bの流動などによって、ガ  
スコック12はほとんど熱的悪影響を受けないも  
のである。

しかし前記構成によれば、載置部範囲A外にガ  
スコック12を配しているのもので、その分だけ器  
体15の全体寸法が大きくなる。卓上用のガス  
コンロは食卓上で使用されるものであり、食卓ス  
ペースを広く確保する意味から、小型化されるこ  
とが望ましいが、前記構成では器体15が大き  
くなり、それによる食卓スペースの阻害はまぬが  
れない。

本発明はガスコックを熱から保護するとともに  
器体の小型化をも満足させた卓上用のガスコンロ  
を提供しようとするものであり、ガスバーナを中

心とする調理部の下方にガスコックを配設した室を形成し、この室内に冷却空気を通すようにするとともに、前記の室を形成する器体壁との間に空気流通間隙をおいて遮熱壁を、前記室を開むように設けたものである。

以下本発明の実施例を第1図～第3図を用いて説明する。

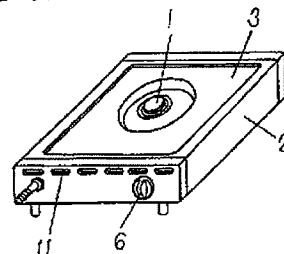
図において1は器体2の略中央に設けられたガスバーナであり、このガスバーナ1を中心として、その周囲に載置部3が形成され、載置部3上に調理用プレート4あるいは鍋（図示せず）などを載置できるようにしている。5はツミ6およびガスバーナ1に接続されたガスコックで、前記載置部3の下方に形成された室7内に配設されている。8は器体2内に設けた遮熱壁で、前記室7を開むように、かつ室7を形成する器体壁2'との間に間隙9をおいて設けられている。10、11は前記間隙9内に冷却空気が至るよう、器体2の底部と前部に穿設した吸排気孔である。

前記構成によれば、ガスコック5を調理用プレ

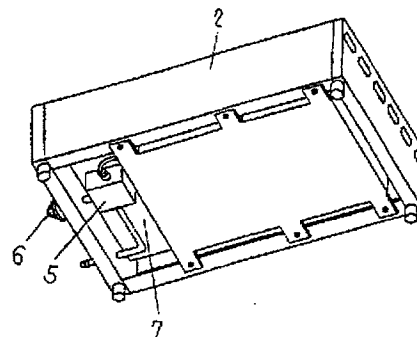
ート4などの載置部3の下方に設けているので、器体2の寸法は前記した従来例よりもかなり小さくなる。また載置部3の下方にガスコック5を配設したことによって、載置部3への調理プレート4のセット時において生ずる蓄熱室6直下にガスコック5が位置することになるが、ガスコック5への熱的悪影響はない。すなわち蓄熱室6、ガスバーナ1などからの熱気は、室7を囲む器体壁2'、および遮熱壁8によって遮熱されているとともに、遮熱壁8と器体壁2'間には矢印Aの如く冷却空気が流動し、かつ室7の下方からは矢印Bの如く冷却空気がガスコック5へ常に供給されているので、ガスコック5は高温加熱を防止されるものである。

なお室7の前面に器体壁2'を設けているが、これは器体2の前方からガスコック5へ物があたって、ガスコック5が損傷されるのを防止するためである。また室7の下方は全面開放されているが、全面開放せずに、たとえば多数の吸気孔を穿設した吸気パネル（図示せず）によって覆ってもよい。

第1図



第2図



しかしガスコック5へより多くの冷却空気を供給するには、室7の下方を全面開放される方が望ましい。

以上述べたように、本発明の卓上用コンロは小型であって、食卓スペースを狭くしないとともに、しかもガスコックの高温加熱も防止されるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

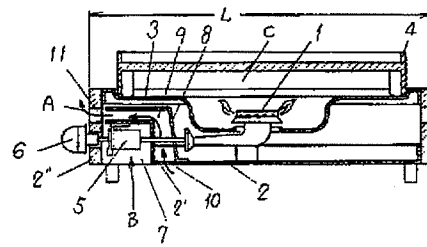
第1図～第3図は本発明の実施例を示し、第1図はコンロの斜視図、第2図はコンロ裏面を示す斜視図、第3図は第1図におけるA-A'線断面図である。

第4図は従来例を示すガスコンロの断面図である。

1……ガスバーナ、2'……器体壁、3……載置部、4……調理用プレート、5……ガスコック、7……室、8……遮熱壁、9……空気流通間隙。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 はか1名

第 3 図



第 4 図

